

# 聖書の年代計算

エルサレム陥落AD70年を起点にアブラハム契約までさかのぼる

\*7, 7×7=49, 50

7年ごとの安息年、7年が7回の49年、  
そして50年目はヨベルの年（レビ記 25:）  
初穂の日から7週49日、50日目は五旬節、七週祭（レビ記 23:）

創 12:4 アブラムはハランを出たとき75歳であった。

BC 1827 アブラハム契約 75才

出 12:40-41 イスラエルの子らがエジプトに滞在していた期間は、430年であった。  
430年が終わった、ちょうどその日に、主の全軍団がエジプトの地を出た。

430

BC 1397 エジプトを出る

1列 6:1 イスラエル人がエジプトの地を出てから480年目、  
ソロモンがイスラエルの王となってから4年目・・・、主の家の建築に取りかかった。

480

BC 917 ソロモンが神殿建築を開始（礎を据える）

1列 6:38 神殿のすべての部分が設計どおりに完成した。7年かけて建てたのである。  
1列 7:1 また、ソロモンは13年をかけて自分の宮殿を建て、すべてを完成させた。

BC 910 ソロモンの神殿が完成

BC 897 ソロモンの宮殿が完成・神殿奉献

500

BC 490 バビロンに捕囚となる

エレミヤ 25:11 この地はすべて廃墟となり荒れ果てて、これらの国々はバビロンの王に70年仕える。  
エレミヤ 29:10 『バビロンに70年が満ちるころ、わたしはあなたがたを顧み、  
あなたがたにいつくしみの約束を果たして、あなたがたをこの場所に帰らせる。  
2歴 36:21 エレミヤによって告げられた主のことばが成就して、この地が安息を取り戻すためであった。  
その荒廃の全期間が70年を満たすまで、この地は安息を得た。  
レビ26:34-35 その地が荒れ果て、あなたがたが敵の国にいる間、その地は休む。そのとき地はその安息を享受する。  
・・・それは、あなたがたがそこに住んでいたとき、あなたがたの安息のときには得られなかったものである。

490

70

BC 420 バビロンから帰還開始 + ダニエル70週の預言

ダニエル 9:24-27 あなたの民とあなたの聖なる都について、70週が定められている。それは、背きをやめさせ、罪を終わらせ、咎の宥めを行い、永遠の義をもたらし、幻と預言を確証し、至聖所に油注ぎを行うためである。それゆえ、知れ。悟れ。エルサレムを復興し、再建せよとの命令が出てから、油注がれた者、君主が来るまでが7週。そして苦しみ期間である62週の間に、広場と堀が造り直される。その62週の後、[油注ぎは断たれ、裁きはなされない（七十人訳）] - 油注がれた者は断たれ、彼には何も残らない。 - 次に来る君主の民が、都と聖所を破壊する。その終わりには洪水が伴い、戦いの終わりまで荒廃が定められている。彼は1週の間、多くの者と堅い契約を結び、半週の間、いけにえとささげ物をやめさせる。忌まわしいものの翼の上に、荒らす者が現れる。そしてついには、定められた破滅が、荒らす者の上に降りかかる。

490

AD 70 エルサレム陥落

500

BC 1327 荒野40+カナン平定30

BC 920 ソロモンの治世がはじまる

1列 11:42 ソロモンがエルサレムで全イスラエルの王であった期間は、40年であった。

40

BC 880 王国分裂

エゼキエル 4:4-6 あなたは左脇を下にして身を横たえ、イスラエルの家の咎をその上に置き。あなたがそのように横たわっている日数だけ彼らの咎を負え。わたしはあなたのために、彼らの咎の年数を日数にして390日とする。・・・次に右脇を下にして身を横たえ、ユダの家の咎を40日間、負わなければならない。わたしは一年を一日としてあなたに課す。

390 (40)

7週（49年）安息の回復期

総督ゼルバベルと大祭司ヨシュア、総督ネヘミヤや祭司エズラなどの指導者たちによって神殿制度・礼拝制度が回復する（ネヘミヤ記8-11章）

62週（434年）

1週（7年）大患難

マタイ 24:15 預言者ダニエルによって語られたあの『荒らす忌まわしいもの』が聖なる所に立っているのを見たら